

子どもの権利啓発シンポジウム

子どもたちの SOS

—今私たち大人にできること—

平成28年1月24日(日) 午後1時～4時30分まで
開場／午後0時30分

場 所 和歌山県民文化会館小ホール (和歌山市小松原通り一丁目1番地)

対 象 一般県民・福祉に関わりのある方・民生児童委員
教育関係者・子どもの人権・福祉に関心のある方々など

第1部

パネルディスカッション 「子どもシェルターの取り組みとこれから」

- コーディネーター：桑原義登 (る一も副理事長、相愛大学名誉教授)
- パネリスト：社会福祉法人カリヨン子どもセンタースタッフ
 - ：永井真理子 (元和歌山県子ども・女性・障害者相談センター次長)
 - ：松木正恵 (る一も理事、和歌山信愛女子短期大学 非常勤講師)
 - ：伊藤あすみ (る一も理事、弁護士)

第2部

和歌山県立桐蔭高校演劇部による創作演劇 「子どもシェルターと出会って(仮題)」



2014年2月11日「子どもシェルターる一も開所記念シンポジウム」

主 催 特定非営利活動法人子どもセンターる一も・和歌山県

協 賛 和歌山南ロータリークラブ

後 援 和歌山市・和歌山弁護士会・子どもシェルター全国ネットワーク会議・和歌山県教育委員会
和歌山市教育委員会・和歌山県臨床心理士会・和歌山県社会福祉士会
和歌山県児童福祉施設連絡協議会・和歌山県里親会・和歌山子どもの虐待防止協会
特定非営利活動法人トレス

連絡先 〒640-8044 和歌山市板屋町22 和歌山中央通りビル5階
(特非)子どもセンターる一も事務局 TEL.073-425-6060 FAX.073-432-3440

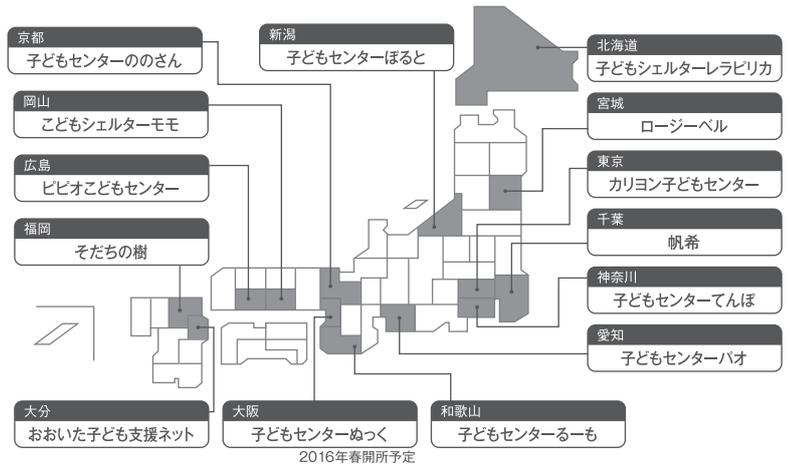
申込不要
参加無料

手話通訳あり・一時保育あり | 1月10日までに上記連絡先まで予約必要(定員あり、先着順)

子どもシェルターとは

本来、子どもは家庭で育つ権利を持っています。しかし、最近、虐待など様々な理由によりその権利を奪われ、家庭で暮らせない子どもが増えています。そのような子どもを一時的に保護し、安心して暮らしてもらえる緊急避難場所が子どもシェルターです。子どもシェルターでは、子どもを一人ぼっちにせず、一緒に歩み、子どもの生きる力を蓄えることを目指しています。

和歌山では、平成25年10月に子どもシェルターる一もを開設し、これまでに24人の子どもを受け入れてまいりました(平成27年10月23日現在)。また、全国的にも子どもシェルター開設の動きが活発で、現在までに全国に13か所の子どもシェルターが誕生しているほか(東京、神奈川、千葉、新潟、宮城、愛知、広島、岡山、京都、福岡、大分、和歌山、北海道)、大阪・沖縄などで子どもシェルターを開所する動きが進んでいます。



第1部

パネルディスカッション「子どもシェルターの取り組みとこれから」

桑原義登 (コーディネーター)

る一も副理事長、相愛大学名誉教授

Profile

昭和45年 島根大学教育専攻科修了
昭和45年～平成14年 島根県及び和歌山県職員(中央児童相談所相談課長、子ども障害者相談センター次長等歴任)
平成2年 臨床心理士資格取得(前臨床心理士会会長)
平成14年 和歌山信愛女子短期大学助教授
平成27年 相愛大学名誉教授、和歌山子どもの虐待防止協会会長

松木正恵 (パネリスト)

る一も理事、和歌山信愛女子短期大学 非常勤講師

Profile

昭和42年 大阪府立大阪社会事業短期大学社会事業学科卒業
昭和42年 和歌山県職員(中央児童相談所、児童家庭課、女性政策課、子育て推進課、子ども未来課(課長)等勤務)
平成18年 和歌山県退職
平成18年 県立高等看護学院非常勤講師(平成27年退職)、和歌山信愛女子短期大学非常勤講師
平成24年 和歌山県社会福祉審議会委員

永井真理子 (パネリスト)

元和歌山県子ども・女性・障害者相談センター次長

Profile

昭和51年 大阪府立大阪社会事業短期大学専攻科卒業
昭和51年 和歌山県職員
(中央児童相談所、青少年女性課、女性政策課、有田振興局、女性相談所、仙溪学園、子ども・女性・障害者相談センター(次長)等勤務)
平成25年 日本福祉大学 福祉経営学部医療福祉マネジメント学科卒業
平成27年 和歌山県退職
平成27年 和歌山市子ども総合支援センター児童相談専門副主幹

伊藤あすみ (パネリスト)

る一も理事、弁護士

Profile

筑波大学第1学群社会学類卒業／早稲田大学大学院法務研究科修了
平成22年 司法試験合格
平成23年 司法修習修了
和歌山弁護士会に弁護士登録、きのくに法律事務所勤務開始
子どもセンターる一も理事
和歌山弁護士会子どもの権利委員会、高齢者障害支援センター運営委員会委員
日弁連全面的国選付添人実現本部委員 など

第2部

創作演劇 「子どもシェルターと出会って(仮題)」

和歌山県立桐蔭高校 演劇部

Profile

桐蔭高校は136年の歴史をもち、「文武両道」を校訓に学校生活を送っています。演劇部は今年もゆかいなメンバーで、年間6回の公演に向けて日々練習しています。平日は放課後、休日は朝から夕方まで体育館の舞台上で仲良く楽しく時にはけんかもしながら活動しています。

平成25年度

第65回和歌山県高等学校演劇祭 優秀賞 近畿総合文化祭出場

第34回近畿高等学校総合文化祭演劇部門 奨励賞

